

## 農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成20年3月4日公表

## 農業経営統計調査

平成18年個別経営の営農類型別経営統計（九州）  
（水田作・畑作・野菜作・果樹作・酪農・繁殖牛・肥育牛経営）

## 【調査結果の概要】

営農類型別経営農家1戸当たりの農業所得をみると、肥育牛経営が811万円で最も多く、次いで酪農経営の584万円、施設野菜作経営の444万円となっています。

表1 営農類型別経営収支の概要（1戸当たり）

区 分	集計戸数	農業所得	農業粗収益	農業経営費	農業生産関連事業所得	農外所得	年金等の収入	総所得	作付延べ面積（飼養頭数）
	戸	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	a（頭）
営農類型別									
水田作経営	241	265	1 727	1 462	7	2 859	1 868	4 999	147
畑作経営	156	1 649	4 137	2 488	9	2 114	1 066	4 838	153
露地野菜作経営	75	1 463	3 601	2 138	-	1 445	1 529	4 437	63
施設野菜作経営	117	4 443	10 654	6 211	1	689	826	5 959	55
果樹作経営	115	1 527	4 797	3 270	7	1 313	1 123	3 956	98
酪農経営	65	5 837	30 838	25 001	-	907	642	7 386	31
繁殖牛経営	131	1 988	5 835	3 847	7	1 723	1 194	4 912	10
肥育牛経営	52	8 110	65 461	57 351	-	1 526	412	10 048	122

営農類型別経営とは、農家において作付けされた農作物別の販売収入をP15の営農類型区分・分類基準表のように水田作経営、畑作経営等に区分し、最も収入が大きい区分により分類した経営のタイプをいいます。

作付延べ面積（飼養頭数）は、水田作経営については稲、麦類、豆類、工芸農作物等を田に作付けした延べ面積、畑作経営についてはいも類、豆類、工芸農作物等を畑に作付けした延べ面積、露地野菜作及び施設野菜作経営については野菜作付延べ面積、果樹作経営については果樹植栽面積、酪農経営については搾乳牛飼養頭数、繁殖牛経営については繁殖めす牛頭数、肥育牛経営については肥育牛飼養頭数です。

**【解説】**  
**農業経営収支**

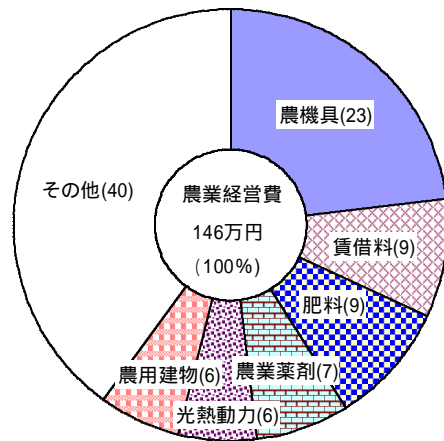
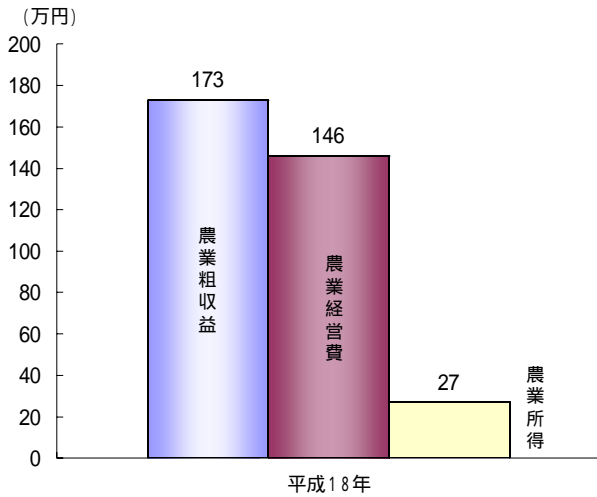
**1 水田作経営**

農家1戸当たりの農業粗収益は173万円、農業経営費は146万円で、農業粗収益から農業経営費を差し引いた農業所得は27万円となっています。

農業経営費の内訳をみると農機具費が23%を占め、次いで賃借料、肥料費が9%となっています。

図1 農業経営収支

図2 農業経営費の構成割合



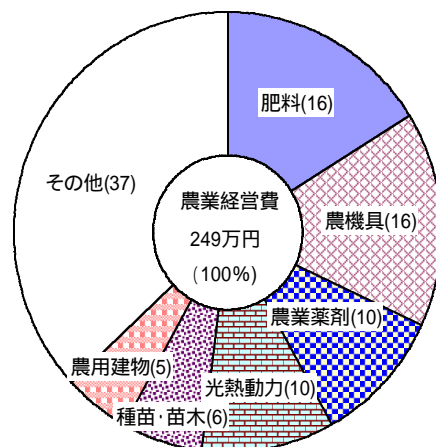
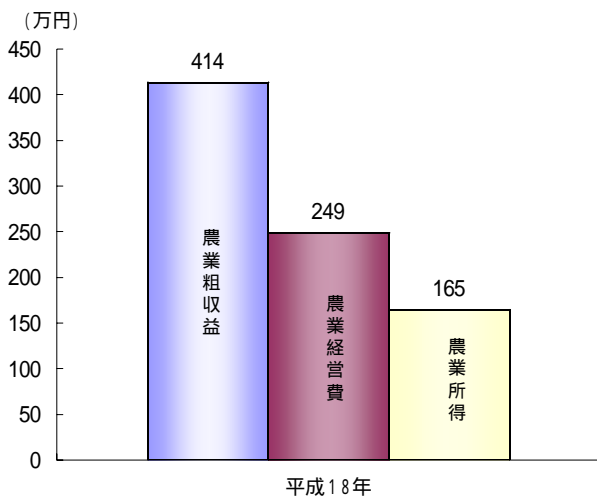
**2 畑作経営**

農家1戸当たりの農業粗収益は414万円、農業経営費は249万円で、農業所得は165万円となっています。

農業経営費の内訳をみると肥料費、農機具費が16%を占め、次いで農業薬剤費、光熱動力費が10%となっています。

図3 農業経営収支

図4 農業経営費の構成割合



### 3 露地野菜作経営

農家1戸当たりの農業粗収益は360万円、農業経営費は214万円で、農業所得は146万円となっています。

農業経営費の内訳をみると農機具費、肥料費が13%を占め、次いで農業薬剤費、種苗・苗木費が9%となっています。

図5 農業経営収支

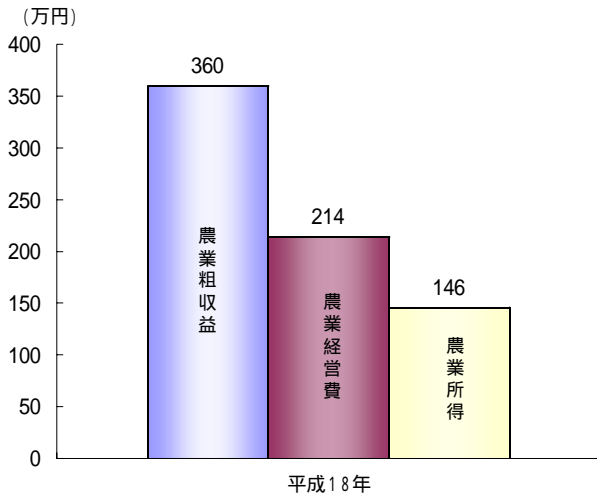
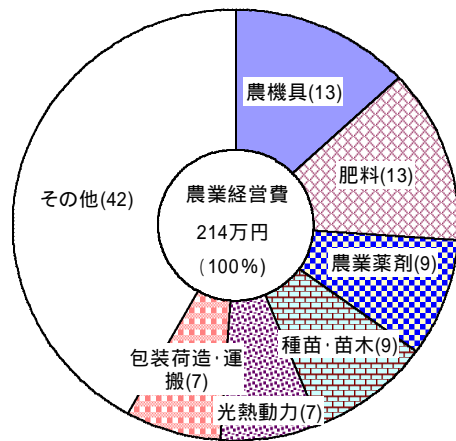


図6 農業経営費の構成割合



### 4 施設野菜作経営

農家1戸当たりの農業粗収益は1,065万円、農業経営費は621万円で、農業所得は444万円となっています。

農業経営費の内訳をみると光熱動力費が16%を占め、次いで農用建物費が12%、包装荷造・運搬費が10%となっています。

図7 農業経営収支

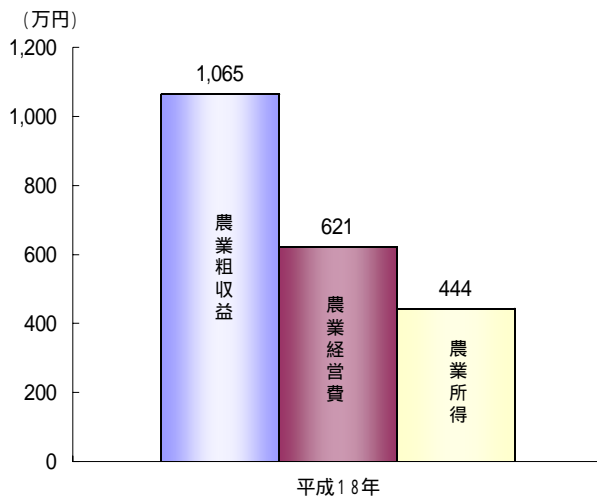
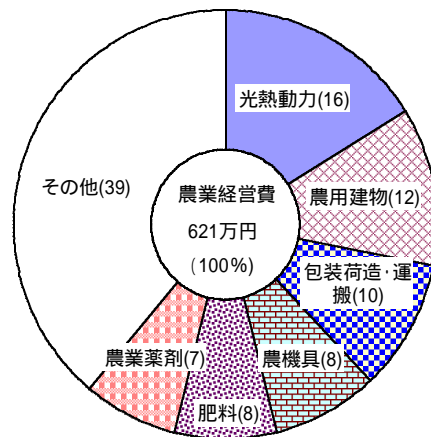


図8 農業経営費の構成割合



## 5 果樹作経営

農家1戸当たりの農業粗収益は480万円、農業経営費は327万円で、農業所得は153万円となっています。

農業経営費の内訳をみると光熱動力費が22%を占め、次いで種苗・苗木費が12%、農業薬剤費が10%となっています。

図9 農業経営収支

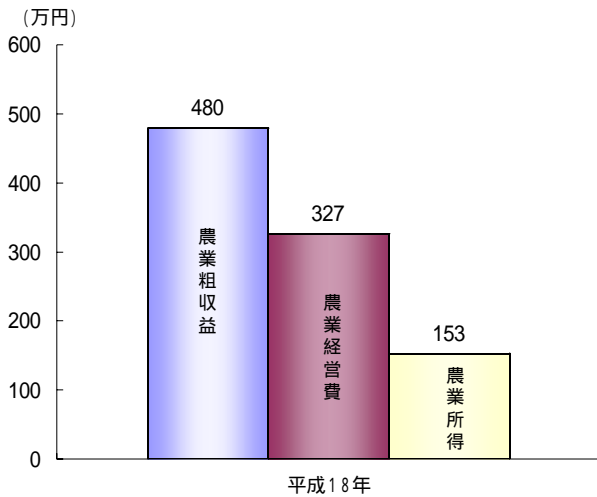
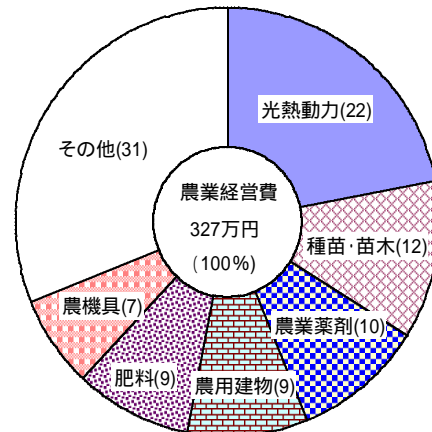


図10 農業経営費の構成割合



## 6 酪農経営

農家1戸当たりの農業粗収益は3,084万円、農業経営費は2,500万円で、農業所得は584万円となっています。

農業経営費の内訳をみると飼料費が46%を占め、次いで動物費が14%、農機具費が8%となっています。

図11 農業経営収支

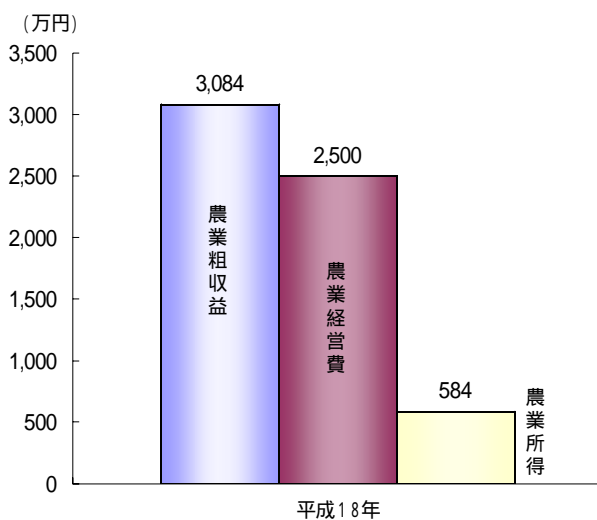
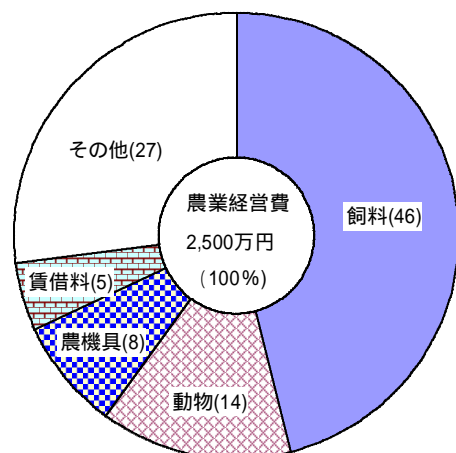


図12 農業経営費の構成割合



## 7 繁殖牛経営

農家1戸当たりの農業粗収益は584万円、農業経営費は385万円で、農業所得は199万円となっています。

農業経営費の内訳をみると飼料費が22%を占め、次いで農機具費が15%、動物費が12%となっています。

図13 農業経営収支

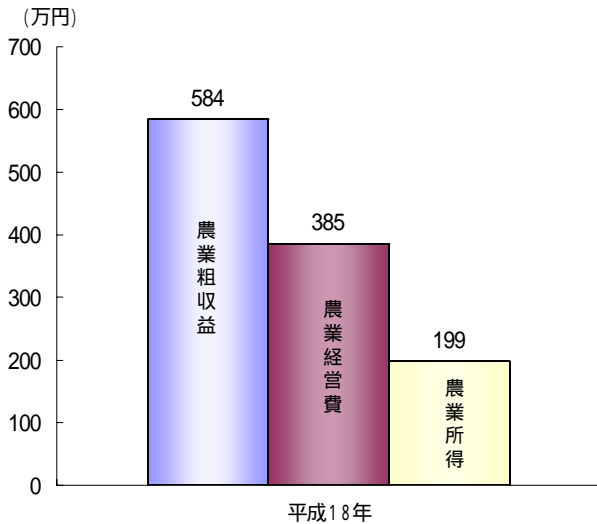
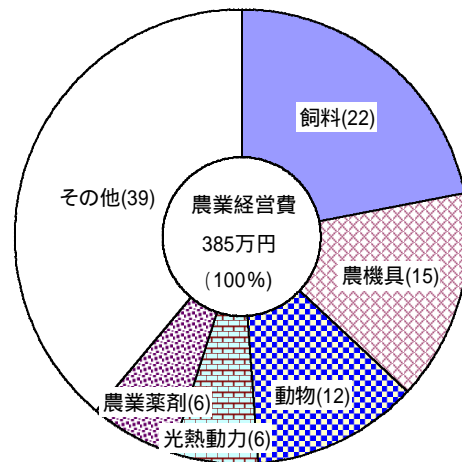


図14 農業経営費の構成割合



## 8 肥育牛経営

農家1戸当たりの農業粗収益は6,546万円、農業経営費は5,735万円で、農業所得は811万円となっています。

農業経営費の内訳をみると動物費が57%を占め、次いで飼料費が28%となっています。

図15 農業経営収支

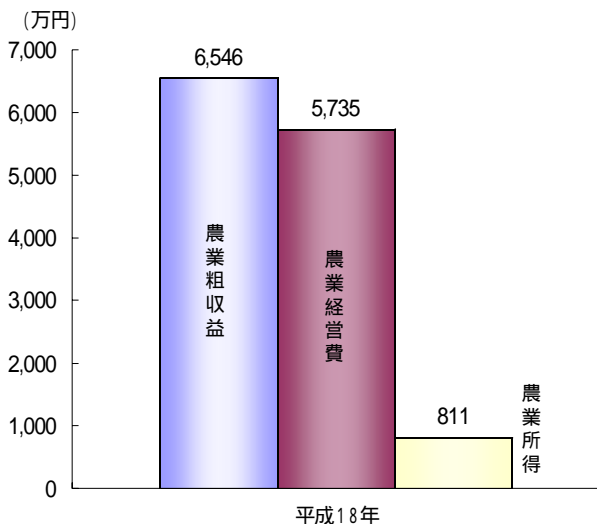
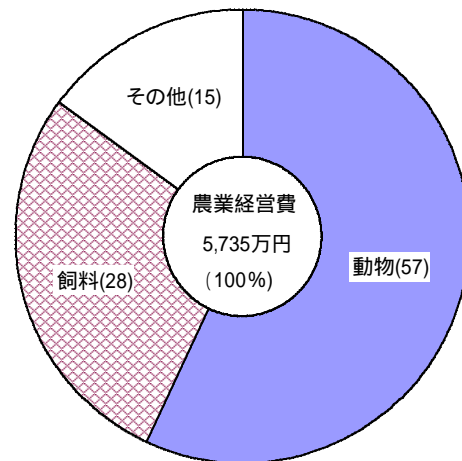


図16 農業経営費の構成割合

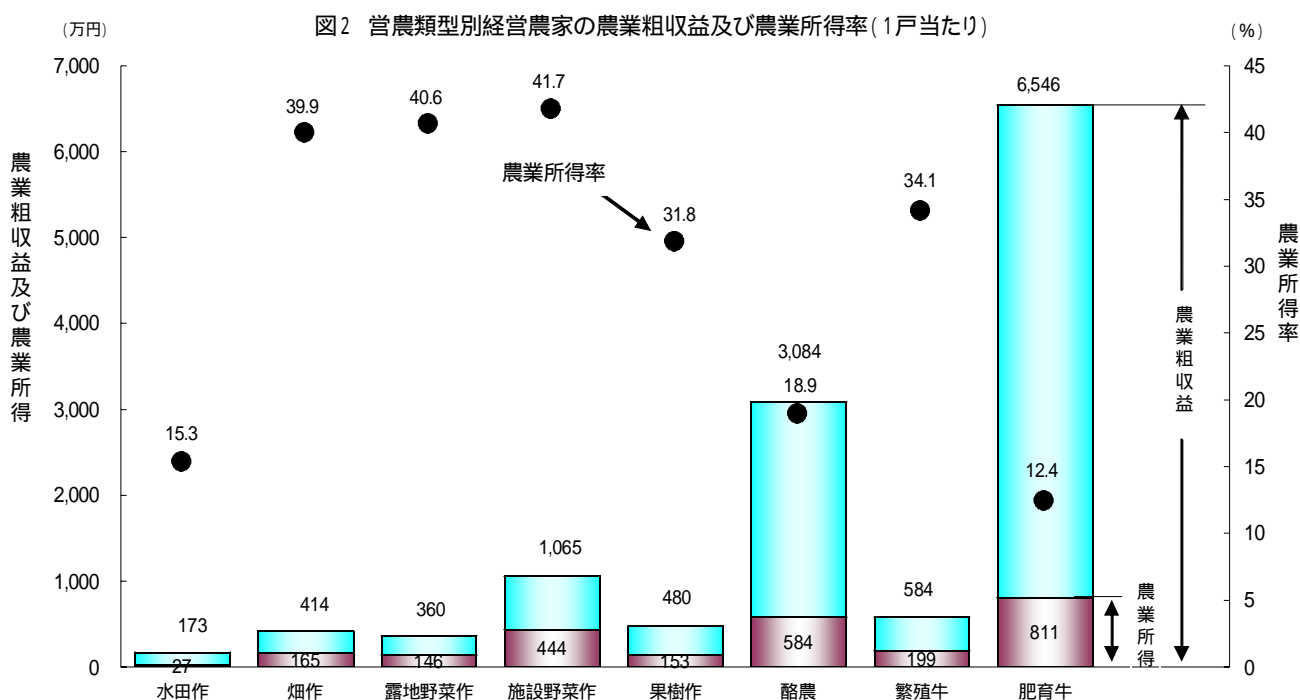
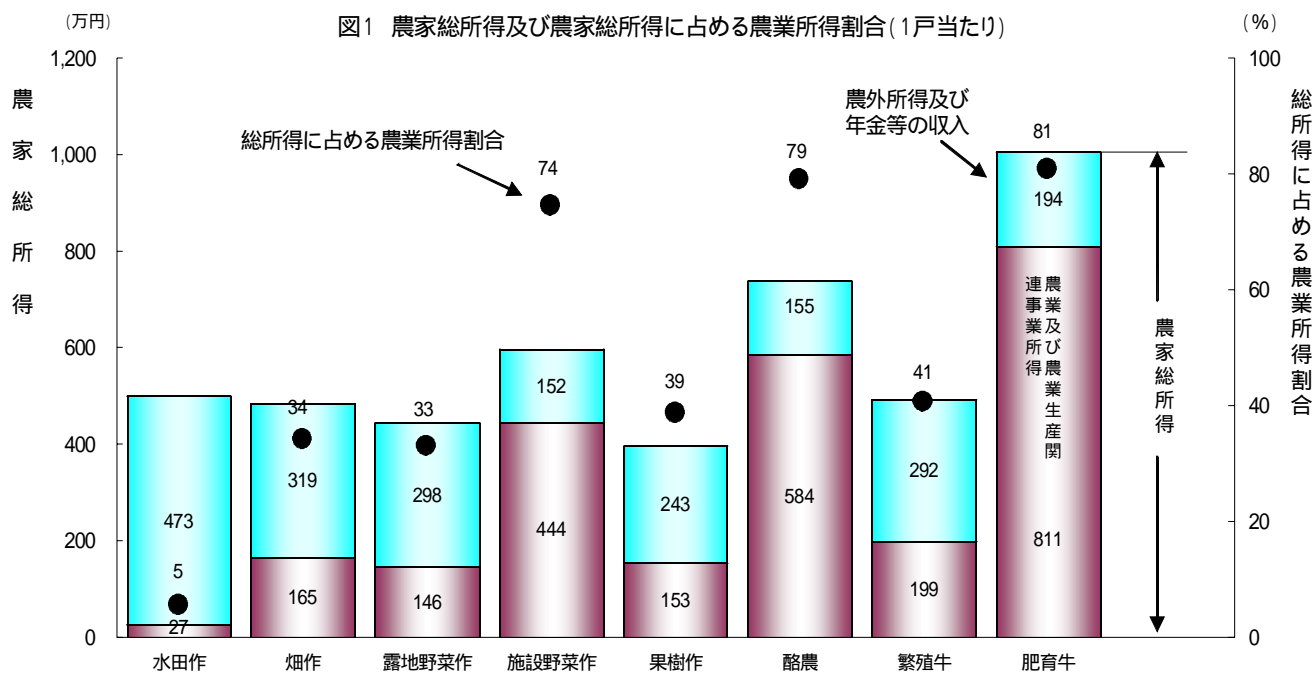


## 農家総所得及び農業所得率

営農類型別経営農家1戸当たりの農家総所得をみると、肥育牛経営が1,005万円で最も多く、次いで酪農経営の739万円、施設野菜作経営の596万円となっています。

農家総所得に占める農業所得割合は、肥育牛経営が81%で最も高く、次いで酪農経営の79%、施設野菜作経営の74%となっています。

また、農業粗収益のうち、どれだけが農業所得として実現するかを示す農業所得率は、施設野菜作経営が41.7%で最も高く、次いで露地野菜作経営の40.6%、畑作経営の39.9%となっています。

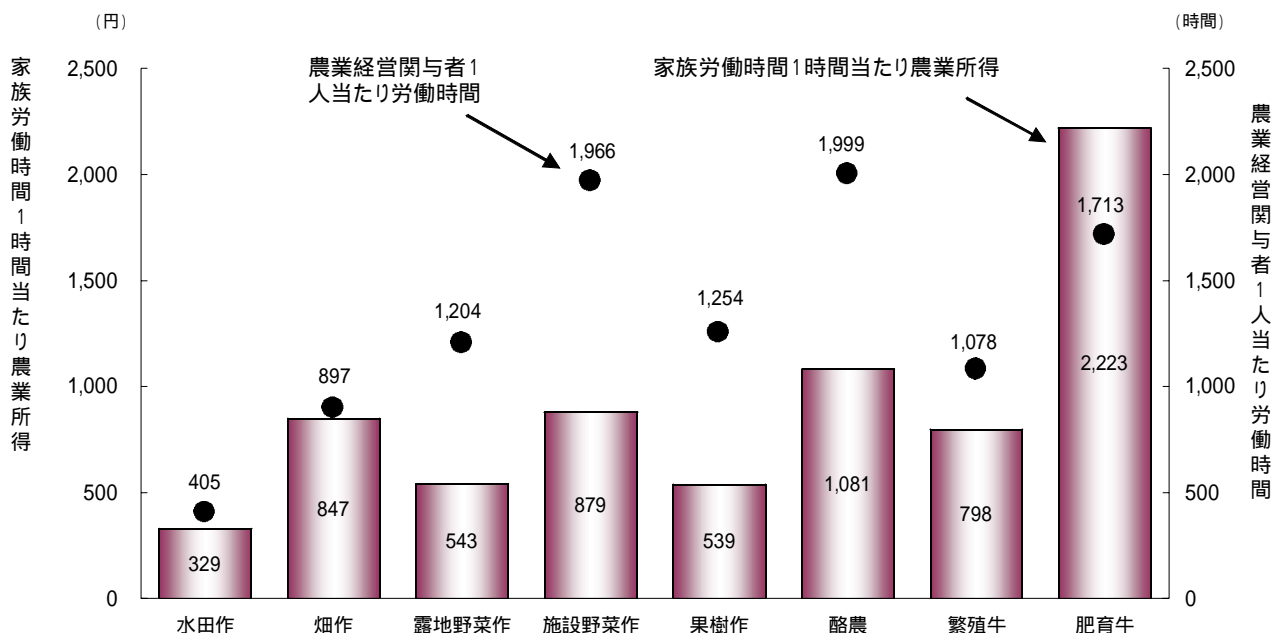


### 単位当たり収益性

家族労働時間1時間当たり農業所得をみると、肥育牛経営が2,223円で最も多く、次いで酪農経営の1,081円、施設野菜作経営の879円となっています。

また、農業経営関与者1人当たり労働時間をみると、酪農経営が1,999時間で最も多く、次いで施設野菜作経営の1,966時間、肥育牛経営の1,713時間となっています。

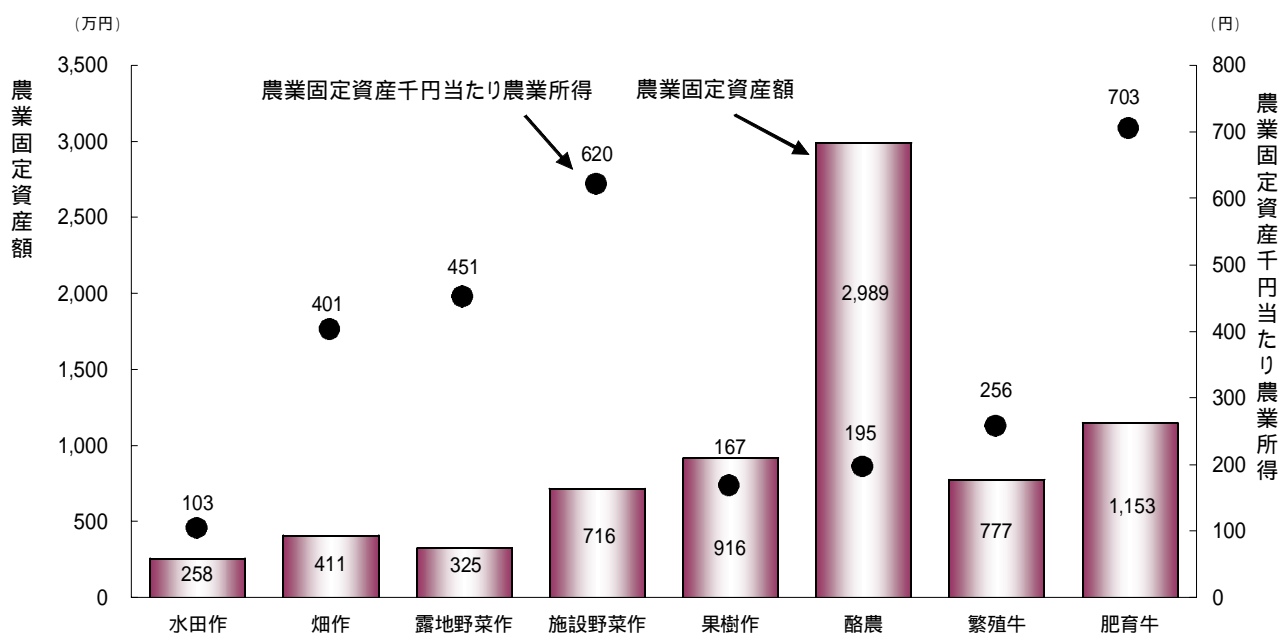
図3 家族農業労働1時間当たり農業所得及び農業経営関与者1人当たり労働時間(1戸当たり)



農業固定資産額につきましては、酪農経営が2,989万円で最も多く、次いで肥育牛経営の1,153万円、果樹作経営の916万円となっています。

また、農業固定資産千円当たりの農業所得をみると、肥育牛経営が703円で最も多く、次いで施設野菜作経営の620円、露地野菜作経営の451円となっています。

図4 農業固定資産額及び農業固定資産千円当たり農業所得(1戸当たり)



【統計表】

経営収支、分析指標及び経営概況（個別経営・販売農家1戸当たり）

区 分	単位	営 農 類 型 別		
		九 州		
		水田作経営	畑作経営	露地野菜作経営
集 計 戸 数	戸	241	156	75
経 営 収 支 の 総 括				
農 業 所 得 1	千円	265	1 649	1 463
農 業 粗 収 益 2	"	1 727	4 137	3 601
う ち 作 物 収 入 3	"	1 362	3 803	3 383
う ち 稲 作 4	"	755	261	443
麦 類 5	"	163	4	101
豆 類 6	"	41	3	23
野 菜 7	"	128	291	2 531
果 樹 8	"	12	8	64
工 芸 農 作 物 9	"	191	2 176	101
う ち 畜 産 収 入 10	"	42	173	28
う ち 酪 農 11	"	-	-	-
自 家 生 産 和 牛 12	"	22	172	11
肥 育 牛 13	"	12	0	17
農 業 経 営 費 14	"	1 462	2 488	2 138
う ち 農 業 雇 用 労 賃 15	"	24	116	102
種 苗 ・ 苗 木 16	"	64	138	186
動 物 17	"	11	0	10
肥 料 18	"	125	395	276
飼 料 19	"	12	27	8
農 業 薬 剤 20	"	109	256	186
光 熱 動 力 21	"	95	245	148
農 用 自 動 車 22	"	74	124	138
農 機 具 23	"	330	389	280
農 用 建 物 24	"	86	124	118
賃 借 料 25	"	136	119	134
土 地 改 良 ・ 水 利 費 26	"	46	33	34
支 払 小 作 料 27	"	83	88	42
包 装 荷 造 ・ 運 搬 等 料 金 28	"	19	73	146
農 業 生 産 関 連 事 業 所 得 29	"	7	9	-
農 外 所 得 30	"	2 859	2 114	1 445
年 金 等 の 収 入 31	"	1 868	1 066	1 529
総 所 得 32	"	4 999	4 838	4 437
分 析 指 標				
農 業 所 得 率 33	%	15.3	39.9	40.6
農 業 経 営 関 与 者 一 人 当 たり 農 業 所 得 34	千円	133	760	653
家 族 農 業 労 働 1 時 間 当 たり 農 業 所 得 35	円	329	847	543
経 営 の 概 況				
月 平 均 農 業 経 営 関 与 者 数 36	人	1.99	2.17	2.24
作 付 延 べ 面 積 ( 飼 養 頭 数 ) ( 注 ) 37	a	147	153	63
自 営 農 業 労 働 時 間 38	時間	864	2 142	2 858
う ち 家 族 ( ゆ い ・ 手 間 替 受 含 む ) 39	"	806	1 947	2 696

注：作付延べ面積（飼養頭数）は、水田作経営については稲、麦類、豆類、工芸農作物等を田に作付けした延べ面積、野菜作付延べ面積、果樹作経営については果樹植栽面積、酪農経営については搾乳牛飼養頭数、繁殖牛経営に

営 農 類 型 別					区分
九 州					
施設野菜作経営	果樹作経営	酪農経営	繁殖牛経営	肥育牛経営	
117	115	65	131	52	
4 443	1 527	5 837	1 988	8 110	1
10 654	4 797	30 838	5 835	65 461	2
9 989	4 551	727	1 166	1 177	3
802	260	557	725	470	4
162	10	95	7	16	5
60	2	2	8	4	6
8 758	127	27	255	457	7
87	4 127	-	26	1	8
0	1	-	47	163	9
122	29	28 251	4 227	62 957	10
10	-	27 730	6	-	11
111	19	157	4 205	654	12
-	7	302	3	62 219	13
6 211	3 270	25 001	3 847	57 351	14
384	115	354	26	347	15
388	392	201	110	84	16
14	3	3 455	470	32 865	17
503	286	189	151	109	18
27	6	11 520	837	16 110	19
418	325	845	215	521	20
1 018	725	1 120	215	846	21
184	158	338	148	444	22
520	236	1 883	592	787	23
731	308	700	167	755	24
359	112	1 193	188	491	25
88	28	57	40	30	26
80	35	268	79	61	27
622	168	259	49	200	28
1	7	-	7	-	29
689	1 313	907	1 723	1 526	30
826	1 123	642	1 194	412	31
5 959	3 956	7 386	4 912	10 048	32
41.7	31.8	18.9	34.1	12.4	33
1 729	676	2 162	861	3 808	34
879	539	1 081	798	2 223	35
2.57	2.26	2.70	2.31	2.13	36
55	98	31	10	122	37
5 613	3 019	5 655	2 569	3 988	38
5 052	2 833	5 398	2 491	3 648	39

畑作経営についてはいも類、豆類、工芸農作物等を畑に作付けした延べ面積、露地野菜作及び施設野菜作経営については繁殖めす牛飼養頭数、肥育牛経営については肥育牛飼養頭数です。

## 【関連するデータ、情報】

### 1 水稻の動向

区 分	九 州						
	作 物 統 計			米 生 産 費 統 計			
	作付面積	収 穫 量	10a 当 たり 収 量	10 a 当 たり 全算入生産費	10 a 当 たり 物 財 費	10 a 当 たり 投下労働時間	10a 当 たり 粗 収 益
	ha	t	kg	円	円	時間	円
平成14年産	199 600	1 008 000	505	153 296	78 285	36.14	116 013
15	196 800	945 600	480	151 286	80 164	34.30	132 821
16	201 900	855 800	424	148 015	77 731	36.11	104 965
17	202 300	959 500	474	146 909	79 305	32.77	104 655
18	200 200	780 400	390	146 366	81 139	32.97	96 612

### 2 小麦の動向

区 分	九 州						
	作 物 統 計			小 麦 生 産 費 統 計			
	作付面積	収 穫 量	10a 当 たり 収 量	10 a 当 たり 全算入生産費	10 a 当 たり 物 財 費	10 a 当 たり 投下労働時間	10a 当 たり 粗 収 益
	ha	t	kg	円	円	時間	円
平成14年産	31 500	97 100	308	60 237	33 040	9.46	44 820
15	33 300	99 500	299	58 295	32 658	9.38	43 782
16	35 200	132 100	375	60 166	34 822	9.27	52 788
17	37 000	147 600	399	59 632	34 315	8.98	56 745
18	37 800	144 900	383	58 241	34 049	8.79	51 145

### 3 大豆の動向

区 分	九 州						
	作 物 統 計			大 豆 生 産 費 統 計			
	作付面積	収 穫 量	10a 当 たり 収 量	10 a 当 たり 全算入生産費	10 a 当 たり 物 財 費	10 a 当 たり 投下労働時間	10a 当 たり 粗 収 益
	ha	t	kg	円	円	時間	円
平成14年産	26 300	64 700	246	63 662	31 435	11.81	51 363
15	25 900	38 900	150	61 398	30 873	11.39	49 436
16	24 000	18 200	76	55 904	30 846	9.51	31 153
17	22 600	37 800	167	59 270	30 895	10.00	44 145
18	22 500	25 000	111	52 133	28 428	8.63	31 962

注：1 各種生産費統計における「10a 当たり粗収益」は庭先販売価格であり、営農類型別経営統計との違いは、搬出費及び出荷経費を除いています。また、共済受取金や産地づくり対策助成金等は含まれていません。

2 「…」は調査を欠くもの。

#### 4 ばれいしょの動向

区 分	九 州		
	野 菜 生 産 出 荷 統 計		
	作付面積	収 穫 量	10a当たり収量
	ha	t	kg
平成14年産	11 600	271 300	2 340
15	10 900	233 300	2 140
16	10 600	237 600	2 240
17	10 500	200 100	1 900
18	10 600	228 800	2 160

#### 5 かんしょの動向

区 分	九 州						
	作 物 統 計			原料用かんしょ生産費統計(10a当たり)			
	作付面積	収 穫 量	10a当たり収量	全算入生産費	物 財 費	投下労働時間	粗 収 益
	ha	t	kg	円	円	時間	円
平成14年産	16 700	510 400	3 060	124 410	31 296	62.94	109 749
15	16 500	443 100	2 690	123 500	32 571	61.11	97 697
16	17 400	491 500	2 820	122 507	34 335	59.40	101 936
17	18 400	...	...	122 618	36 307	58.35	104 299
18	19 000	...	...	123 293	38 077	57.12	99 335

#### 6 茶の動向(主産県)

区 分	九 州		
	作 物 統 計		
	摘採面積	生葉収穫量	荒茶生産量
	ha	t	t
平成14年産	13 300	140 000	28 100
15	13 400	156 200	31 300
16	13 400	177 300	36 300
17	13 500	168 600	34 700
18	13 500	162 900	33 300

## 7 野菜の主な品目の動向

区 分		九 州	
		野菜生産出荷統計	
		作付面積	収穫量
		ha	t
ト マ ト	平成16年産	2 220	158 200
	17	2 190	157 200
	18	2 180	154 200
い ち ご う	平成16年産	1 930	68 300
	17	1 870	63 900
	18	1 840	62 600
き ゆ う り	平成16年産	2 140	127 900
	17	2 120	128 100
	18	2 060	117 500
ね ぎ	平成16年産	2 790	40 100
	17	2 780	41 300
	18	2 690	38 700
だ い こ ん	平成16年産	7 240	318 200
	17	...	...
	18	6 900	317 300
す い か	平成16年産	3 060	103 800
	17	...	...
	18	...	...
メ ロ ン	平成16年産	2 350	50 500
	17	...	...
	18	...	...
な す	平成16年産	1 380	78 200
	17	1 350	81 100
	18	1 300	77 300
キ ャ ベ ツ	平成16年産	4 800	139 100
	17	...	...
	18	4 760	147 600
た ま ね ぎ	平成16年産	3 650	176 500
	17	3 780	186 500
	18	4 050	209 000
レ タ ス	平成16年産	2 760	56 500
	17	...	...
	18	2 790	64 500

注：「...」は調査を欠くもの。

## 8 果樹の主な品目の動向

区 分		九 州	
		果樹生産出荷統計	
		結果樹面積	収穫量
		ha	t
温 州 み か ん	平成16年産	17 600	344 200
	17	17 200	369 200
	18	16 700	258 800
ぶ ど う	平成16年産	2 200	19 400
	17	...	...
	18	...	...
日 本 な し	平成16年産	2 220	40 600
	17	2 180	48 800
	18	2 100	40 100

### 9 乳用牛の動向

区 分		九 州		
		畜 産 統 計 ( 成 畜 )		
		飼 養 戸 数	飼 養 頭 数	1戸当たり飼養頭数
		戸	頭	頭
平 成	16 年	3 110	113 500	36.5
	17	2 990	112 000	37.5
	18	2 880	110 500	38.4

### 10 肉用牛の動向

区 分			九 州		
			畜 産 統 計		
			飼 養 戸 数	飼 養 頭 数	1戸当たり飼養頭数
			戸	頭	頭
肉	計	平成 16 年	41 600	1 014 000	24.4
		17	39 900	1 011 000	25.3
		18	38 300	1 010 000	26.4
用	肉 用 種	平成 16 年	40 200	822 000	20.4
		17	38 600	822 000	21.3
		18	36 800	824 900	22.4
牛	乳 用 種	平成 16 年	1 380	192 000	139.1
		17	1 290	189 000	146.5
		18	1 520	185 000	121.7

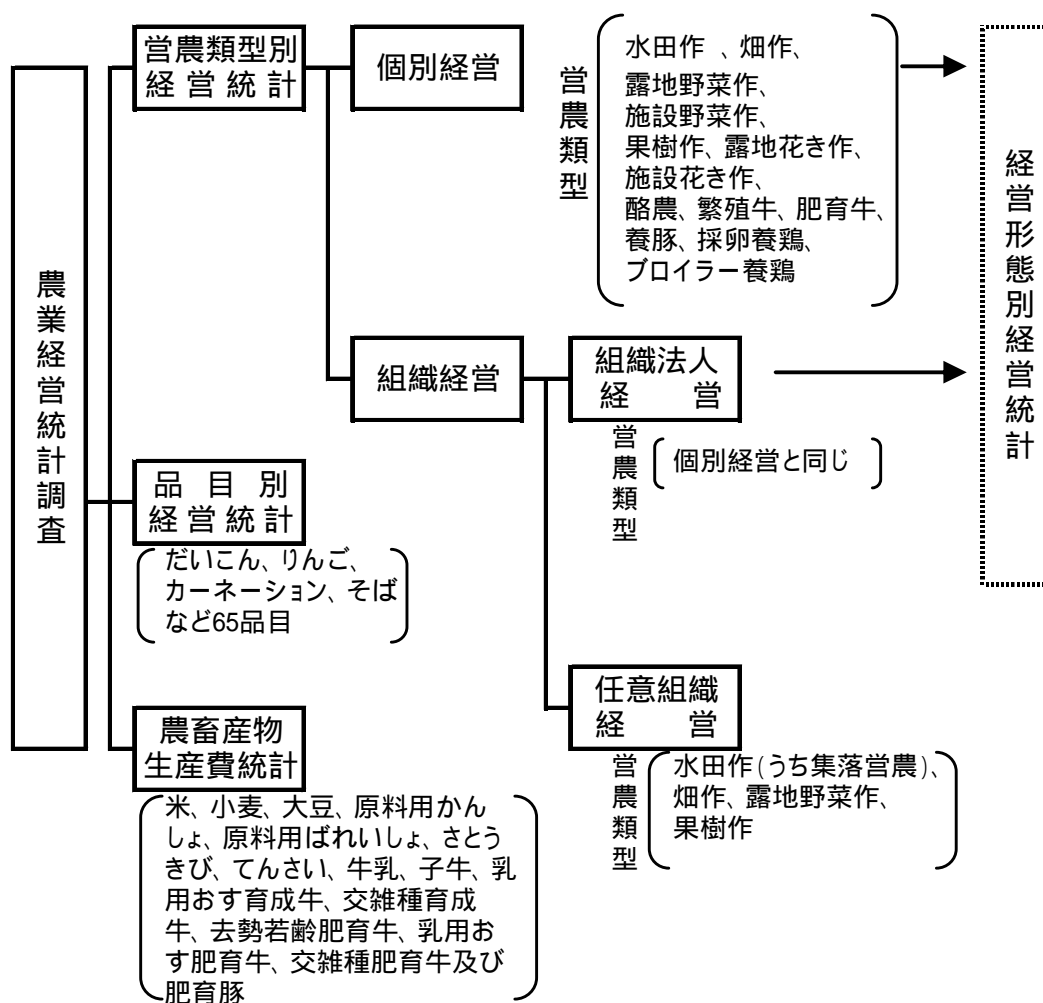
## 【調査の仕様】

### 1 調査の目的

農業経営統計調査の「営農類型別経営統計・経営形態別経営統計（個別経営）」は、農家の経営の実態を明らかにし、農業行政の資料を整備することを目的としています。

### 2 調査の体系

農業経営統計調査は、組織経営を含め農業経営の実態を一体的かつきめ細かく明らかにする観点から、法人、集落営農などの組織経営に関する調査の充実を行いつつ、農業経営関連諸施策等の見直し・再編に的確に対応した調査体系及び調査内容とし、平成16年から現行体系による調査を実施しています。



注：「経営形態別経営統計」とは、個別経営、組織法人経営別に各営農類型別経営統計をまとめ、上記営農類型に該当しないその他の経営を加えて集計したものです。

### 3 調査の対象

本調査は、販売農家（経営耕地面積が30 a 以上、又は過去1年間の農産物販売金額が50万円以上の農家）を対象に実施しました。

また、この結果は全国を設計単位とした標本調査の中から九州分を抜き出し集計したものです。したがって、各経営とも九州管内における各経営農家の平均ではありません。

4 調査農家の営農類型分類について

調査農家の営農類型区分及び分類基準については、以下のとおりです。

この第一報は、平成18年調査時において、下記営農類型の種類の種類に分類された調査農家について集計を行っています。

営農類型区分・分類基準表

営農類型の種類	営農類型の分類基準
水田作経営	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物のうち、水田で作付けした作物の販売収入合計が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
畑作経営	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物のうち、畑で作付けした作物の販売収入合計が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
野菜作経営	野菜の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
露地野菜作経営	野菜作経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営
施設野菜作経営	野菜作経営のうち、施設野菜の販売収入が露地野菜の販売収入より多い経営
果樹作経営	果樹の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
花き作経営	花きの販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
露地花き作経営	花き作経営のうち、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営
施設花き作経営	花き作経営のうち、施設花きの販売収入が露地花きの販売収入より多い経営
酪農経営	酪農の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
肉用牛経営	肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業販売収入に比べ最も多い経営
繁殖牛経営	肉用牛経営のうち、繁殖牛経営に係る販売収入が肥育牛経営に係る販売収入以上である経営
肥育牛経営	肉用牛経営のうち、肥育牛経営に係る販売収入が繁殖牛経営に係る販売収入より多い経営
養豚経営	養豚の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
採卵養鶏経営	採卵養鶏の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
ブロイラー養鶏経営	ブロイラー養鶏の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
その他経営	上記の営農類型に分類されない経営

## 5 経営収支並びに資産及び負債の把握範囲

経営収支並びに資産及び負債の把握については、

- ・農家世帯の農業全体
- ・農業経営関与者<sup>注</sup>が経営権を持っている農業生産関連事業及び農外事業等

に着目した把握としており、把握の範囲は次のとおりです。

農 業：農家世帯全体の経営収支

農業以外：農業経営関与者の経営収支

注： 「農業経営関与者」とは、農業経営主夫婦及び年間60日以上当該農家の農業に従事する世帯員である家族をいう。

なお、15歳未満の世帯員及び高校・大学等への就学中の世帯員は、年間の自営農業従事日数が60日以上であっても農業経営関与者とはしない。

なお、主な経営収支の計上範囲については、以下のとおりです。

### (1) 農業粗収益

農業粗収益には、農業経営の成果である農産物等の販売収入、現物外部取引額、農業生産現物家計消費額、農作業受託収入等の収入を計上しました。

なお、経営安定対策等の補てん金・助成金については農業雑収入に、販売価格の一部として交付される助成金等については当該農産物の販売収入として、それぞれ計上しました。

### (2) 農業経営費

農業経営費には、農業粗収益をあげるために要した資材や料金の一切の費用を計上しました。

### (3) 農業生産関連事業収支

農業生産関連事業の収支には、農業経営関与者が経営権を持っている事業の収支を計上しました。

なお、「農業生産関連事業」とは、農業経営関与者が経営する農産加工、農家民宿、農家レストラン、観光農園、市民農園等の農業に関連する事業であって、従事者がいること、当該農家で生産した農産物を使用していること、当該農家が所有又は借り入れている耕地若しくは農業施設を利用していること、のいずれかに該当するものとします。

ただし、これらの事業を行っていても、別に法人化等により経営する事業は、農業生産関連事業とはせず、農外事業としました。

### (4) 農外収入

農外収入には、農業経営関与者が経営権を持っている農業及び農業生産関連事業以外の事業の収入、農業経営関与者が他の経営に雇用されて受け取る給料・俸給等のほか、農業経営関与者が受け取る歳費・手当、配当利子等、貸付地の小作料並びに地代収入等を計上しました。

### (5) 農外支出

農外支出には、上記(4)の事業に係る支出及び負債利子を計上しました。

### (6) 年金等の収入

農業経営関与者が受け取る年金及び各種社会保障制度による給付金、退職金、各種祝い金及び見舞金を計上しました。

(7) 租税公課諸負担

農業経営関与者の農業経営以外の経営負担分を計上しました。

6 調査期間

平成18年調査の期間は、平成18年1月から12月までの1年間です。

7 調査方法

調査農家に調査票を配付して、毎日の現金収支及び労働時間等を記録させる自計申告調査、農林水産省の職員が調査農家の決算書類を閲覧しその内容を転記して行う調査並びに農林水産省の職員が調査農家の代表者に対して行う面接調査の方法により行いました。

8 分析指標等の計算方法

分析指標等の計算については、以下のとおりです。

なお、農業固定資産額については、農業固定資産の年始め現在価（土地を除く）+購入額としています。

(1) 農業所得率（%）= 農業所得 ÷ 農業粗収益 × 100

(2) 農業経営関与者1人当たり農業所得（千円）= 農業所得 ÷ 農業経営関与者数

(3) 家族農業労働1時間当たり農業所得（円）= 農業所得 ÷ 家族農業労働時間 × 1000

9 統計表中に使用した記号

「0」・・・単位に満たないもの

「-」・・・事実のないもの

「 」・・・負数又は減少したもの

「...」・・・事実不詳又は調査を欠くもの

本調査結果の詳細は、追って刊行する『第54次熊本農林水産統計年報』に掲載します。

本統計結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【[http://www.maff.go.jp/kyushu/toukei/ht\\_all.html](http://www.maff.go.jp/kyushu/toukei/ht_all.html)】

**【問い合わせ先】**

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

経営・構造統計課 経営統計第1係

電話：（代表）096（353）3561 内線4741

（直通）096（353）7566

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画第2係

電話：（代表）096（353）3561 内線4723

（直通）096（353）7556